

福山東警察署駅前交番庁舎設計業務公募型建築プロポーザルにおける審議の結果について

1 特定結果

次のとおり、特定者及び次点者を特定しました。

特定者	株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所 (東京都目黒区下目黒 5-3-12-3F)
次点者	一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所 (東京都渋谷区渋谷 3-25-21 第一平野ビル 403)

2 講評

審査部会長のコメント

交番という小さな対象に対して、全国から 83 もの充実した内容の提案をいただきました。多くの時間をつかって検討されたものばかりでした。応募者の方々に感謝をいたします。

まちづくりとの関連を考慮ことや交通島という敷地が特徴の計画で、交番という存在をより多角的に捉えなくてはならないわけですが、最終案に残った 5 作品は、どれもが課題を的確に捉えた上で交番の魅力づくりに真摯に取り組んでおられました。その中から最優秀賞を選ぶことは難しい側面もありましたが、最終的に審査員が全員一致で、この案がいいだろうという案を選ぶことができました。

計画としてはこれからは本番にはいっていきます。設計者の方のこれからの頑張りに期待したいと思います。素晴らしい交番を実現してください。

乾久美子

(1) プロポーザルの概要

このプロポーザルは、昭和 45 年に建築された現在の駅前交番の老朽が進んでいること、また、現在地では駐車スペースの確保が難しく、場所も分かりづらいといった声もあったことから、福山駅に至近の公共用地を活用できるものとして、現在地から西方約 200m の位置に移転整備を進める計画とし、技術力や創造力のもとより、柔軟な発想力にも優れた設計者を選定するために実施した。

「親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり」について、「周辺環境と調和し警察らしさを感じさせる魅力ある施設づくり」についての 2 つの評価テーマを設定し、地域の安全・安心の要として、交番の役割を最大限発揮させる高い機能性のもとより、福山らしさを感じられ、また備後圏域の玄関口にふさわしい魅力を兼ね備えた交番施設の提案を求めたものである。

(2) 1 次審査概要

審査は、まず第 1 段階として各委員が 83 者の簡易提案書全体について、それぞれの評価を提示し、相互の評価軸を確認した上で、10 者を選定・投票した。その集計結果は次のとおりとなった。

獲得票数	獲得者数	審査番号
3 票	2 者	51, 56
2 票	11 者	15, 16, 19, 23, 26, 30, 38, 55, 58, 59, 82
1 票	22 者	3, 5, 6, 8*, 11, 17, 22*, 24*, 25, 32, 33*, 34*, 42, 43*, 60, 62, 63, 64*, 66*, 69*, 76*, 83
0 票	48 者	上記以外
	合計 83 者	

注 1) ※は 1 票獲得した者のうち、第 2 段階に進んだ者を示す

次に第2段階として、2票以上を獲得した13者は議論対象として残り、0票の提案は議論の上、次のステップへは進まないこととした上で、1票を獲得した者については、投票した委員が理由等を説明し、他委員の意見を参考に議論を行った。議論の結果、1票獲得者のうち10者が議論対象として残り、合計23者が次のステップに進んだ。

第3段階として、あらためて各委員が23者の提案を精査し、平面計画やファサード等、計画が類似するものを分類分けした後、絞り込みを行い、16者を審査対象として残り、その中で各委員が3者を選定し投票した。その集計結果は次のとおりとなった。

獲得票数	獲得者数	審査番号
3票	1者	23
2票	3者	26, 51, 58
1票	6者	22, 34, 38, 56, 59, 64
0票	6者	8, 16, 19, 33, 43, 69
	合計 16者	

注2) 上記以外の7者は分類分け後の絞り込みにより、審査対象に残らなかった

最終段階として、2票以上を獲得した4者は2次審査に進むこととし、1票の6者の提案について、それぞれの提案の特徴を精査し、絞り込みを行い、技術提案書の提出候補者の5者を決定した。その後、技術提案に向けての留意事項等を候補者へ通知する文面の決定を行った。

(3) 2次審査概要

技術提案書に基づき、1者当たり発表10分・質疑応答15分の公開ヒアリング審査を行った。その後、審査部会を開催し、技術提案書の内容及びプレゼンテーションや質疑応答などを踏まえて、審議を行った。具体的には、

- ① 各審査委員がプレゼンテーション・ヒアリングを終えての各提案についての所見を述べながら審査委員それぞれの評価軸を確認した。それらを踏まえて、議論の対象として残したい提案を選ぶための参考とするため、予備投票として審査委員5名が2票ずつを投じた。

①参考とするための予備投票結果

	提案者名 (発表順)	予備投票結果
1	藤森雅彦一級建築士事務所	0
2	株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所	5
3	SUPPOSE DESIGN OFFICE 株式会社	0
4	一級建築士事務所 滝川寛明建築設計事務所	0
5	一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所	5

- ② その結果、最終の議論には、5票を獲得した株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所及び一級建築士事務所山下貴成建築設計事務所を残すこととした。

- ③ その後、上記2者の提案について、両者が作り出すヴァリュー、課題、想定される影響などを逐次精査し、審査部会の総意として特定者として株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所、次点者として、一級建築士事務所 山下貴成建築設計事務所に決定した。なお、特定するにあたり「基本設計において外壁の材料および工法の選定プロセスに留意すること」、並びに「駐輪場の屋根形状や外部からの見え方を工夫すること」を審査部会の意見として付すこととした。

(4) 各提案の講評

特定者の株式会社メグロ建築研究所一級建築士事務所の提案は、交番に求められる防御性と独特なボリューム感のユニークな形状を備えており、ランドマーク的でありながら威圧的でもない、実によくまいバランス感を有している。常夜灯というイメージは明快であり、鉄のまちであった福山を感じさせる外観は、市民に親しまれるとともに、安心感を持っていただけるものと確信しており、福山駅前を居心地が良く歩きたくなるような空間に変える一助となることも期待される。

また、平面プランにおいては、諸室の配置等が機能的であり、交番の役割、警察官の勤務形態をよく理解していることが窺える。

外壁への使用を検討している耐候性鋼板については、扱いが非常に難しいことから、基本設計においては他の材料への変更も考えられるが、例え外壁の色彩やテクスチャーが変わったとしても、巨大な建築物や構造物に囲まれたこの敷地において、独特なボリューム感を持つこの建物は、駅前の空間を豊かなものすることに資すると考えている。

次点者の一級建築士事務所山下貴成建築設計事務所の提案は、コンパクトに機能をまとめたコアと、そこに掛かる軽やかな屋根で構成されており、バラや福山城で使われた鉄板を想起させる美しい提案であった。二次元のパースのように軽やかな建物が実物として可能か否かの議論では、ヒアリングでの提案者の真摯な態度や、受け答えから窺える高い技術力をもってすれば可能であろうとの結論に至った。しかしながら、コアと屋根のバランスにおいて、プロポーショナル的に屋根の面積が小さく、コストコントロールでは屋根面積を縮小する方向に圧力が高まるであろうことを考慮すると、プロポーショナルが崩れることへの懸念を払拭することができず、最後まで審査委員を悩ませたが、惜しくも次点に留まることとなった。

(以降、発表順)

藤森雅彦一級建築士事務所の提案は、守りの象徴としての交番で堅牢性が高い計画であり、シンブルな造りでありながら、この敷地においてある程度人目に付くことを考えている点が評価された。また、平面プランがしっかりしており、説明も合理的であった。しかしながら、外観デザインについて、お城をイメージしているとはいえ、一般的工業製品の採用であること、執務室からの更なる視界の確保に対し積極性が欠けること、完成度が高い反面、今後のまちづくりへの展開可能性が限定的であること、といった懸念が出され、最終的な議論に残ることができなかった。

SUPPOSE DESIGN OFFICE株式会社の提案は、備後餅をモチーフとした外観がシンボリックで洗練されており、透明性を前面に押し出した開かれた交番である点が評価された。一方で、透明性が与える負荷、すなわち交番におけるプライバシーが必要な部分において、どのような対応ができるのかといった質疑の中で、ある程度のアイデアが提示され、対応が可能である旨の回答がなされたものの、透明性が有する長所を失わずにそうした機能を実現するための具体性に踏み込めていない点が指摘され、最終的な議論に残ることができなかった。

一級建築士事務所滝川寛明建築設計事務所の提案は、周囲を道路で囲まれた特徴的な敷地にシンボリックな形態を挿入した力強い作品である点が評価された。一方で、提案のような建物が限られた予算の中で実現可能かとの質疑においては、いろいろな対策が考えられるなかで、作品を重視する方向性に収斂しがちで、選んだ場合に求められる、関係者と共に課題を解く協働性点について、審査委員の懸念を払拭することができず、最終的な議論に残ることができなかった。

最終的に一案に絞りこむ結果となったが、2次審査に進んだ提案、1次審査に提出された提案は、どれも知恵を絞った提案性の高い作品で、その評価は非常に難しい作業となった。ここに記して、関係各位に深い謝意を示したい。

3 審議経過等

(1) 審議内容

ア 評価基準，評価要領の策定

「親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり」について、「周辺環境と調和し警察らしさを感じさせる魅力ある施設づくり」についての2つの評価テーマを含め、評価基準及び評価要領等を策定

イ 技術提案書の提出者の選定（1次審査）

参加表明書及び簡易提案書の提出者（83者）について、技術提案書の提出者を選定するための基準による評価を行い、技術提案書の提出者（5者）を選定

ウ 技術提案書の特定（2次審査）

提出された技術提案書（5者）について、公開プレゼンテーション・ヒアリングを実施した上で、2次審査の評価基準による評価を行い、特定者及び次点者各1者を特定

[審議経過]

令和3年4月12日	審査部会（第1回）	評価基準，評価要領の策定
令和3年4月23日	公募型建築プロポーザル公示	
令和3年5月21日	参加表明書等の提出期限	83者提出
令和3年6月7日	審査部会（第2回）	技術提案書の提出者の選定（5者）
令和3年6月18日	技術提案書の提出要請	
令和3年7月9日	技術提案書の提出期限	5者提出
令和3年7月26日	審査部会（第3回）	公開ヒアリング，特定者の決定

(2) 審査部会構成

[審査部会委員（順不同・敬称略）]

委員区分	氏名	所属等
部会長	いぬい くみこ 乾 久美子	乾久美子建築設計事務所主宰／横浜国立大学大学院Y-GSA教授
委員	おのだ やすあき 小野田 泰明	東北大学大学院 教授
委員	わたなべ かずなり 渡邊 一成	福山市立大学 教授／福山駅前デザイン会議委員
委員	こうざか ゆうじ 高坂 裕治	広島県警察本部総務部施設課長
委員	まとば ひろあき 的場 弘明	広島県土木建築局総括官（建築技術）